○サイバーセキュリティ月間（２月１日～３月１８日）　個人情報の流失を防ぎましょう。

十島村教育委員会だより　令和３年１月号

むらかたーカラ情報

南北１６０km
「心をつなぎ　気概に満ちた」十島の教育

十島村教育委員会
〒892-0822
鹿児島市泉町13番13号
TEL　099-227-9771

「自分でできる新型コロナ対策は」

十島村教育長　有　村　孝　一

明けましておめでとうございます。皆さん健康で新たな年を迎えられたことと思います。さて今年の干支は十二支で言うところの「丑年（うしどし）」、ウシに当たるわけですが、正確に干支を表すと「辛丑（かのと・うし）」です。

干支は実生活において年以外にも「丑三つ時」や「土用丑の日」などの時間や暦などを表すこともありますが、一方で運勢や性格、相性などの占いなどにも使われます。辛丑（かのとうし）の意味や特徴については、勉学や仕事、恋愛、健康などそれぞれが相互に影響をもたらし合います。なにかに行き詰まったときは全く別のものから活路を見いだせることもあるでしょう。と物の本に書いてありました。

十島村教育委員会における毎年最初の行事が、成人の日に開催します「十島村　新成人を祝う会」であります。今年については、1月11日を予定していましたが、コロナウィルス感染症の関係で、残念ながら出席者がいないということで中止としたところです。新成人の皆さんには、村長からのお祝いのメッセージカードを贈りました。

ところで首都圏では、新型コロナウィルス感染症拡大を食い止めるために、7日に緊急事態宣言が出されました。なかなか思うに任せない状況にあります。そこで、その新型コロナにどう向き合うかということで、健康予防政策機構代表の岩崎恵美子氏の講演が、南日本新聞（令和2年12月23日）に載っていましたので、その記事を紹介したいと思います。

「感染症の拡大は、病原体の強さと生活習慣が関係する。あまり手洗いの習慣のない欧米では、新型コロナにかかって亡くなる人が多い。感染症は、人が移動することで広がる。14世紀から18世紀にかけてヨーロッパで流行したペストは、大航海時代のグローバル化に伴い、ウィルスを持ったネズミが船で移動し、船内やマルセイユ、ローマといった大きな港がある場所に広がった。エイズや鳥インフルエンザ、重症緊急性呼吸器症候群（SARS）などの新しく発生してきた感染症のほとんどは動物に由来している。中でもコウモリを起源として他の動物を経由し発生したケースが多い。狂犬病、エボラ出血熱もコウモリが発端であるといわれている。実際、感染症にかかると体内には強い免疫ができ、かかった後の感染予防には有効とはいえ、命を落とすこともあるので、ワクチンが有効だ。インフルエンザワクチンを接種したのにかかったという人がいるものの症状は軽かったはずで、新型コロナのワクチンも、それなりの効果はあるだろう。

日本から外に出ると、感染症は山のようにある。ウガンダでエボラ出血熱の治療に従事した際の経験では、患者の多くは出血していないが、みんな下痢をしていた。便にはウィルスが多く感染リスクが高い。SARSは香港のホテルから世界に広まった。唾液の飛沫が飛んで広がったといわれ、香港ではみんなマスクをしていた。それでも広がったのは、便に触れた手からだろう。発端の香港では、ホテルの同じフロアの14人が感染しており、エレベーターのボタンから広がったと推測されている。インフルエンザも唾液の飛沫でうつる場合もあろう。ただ、それよりもくしゃみなどの唾液がついた手や、鼻をかんだ後に十分な手洗いをしていない手で物を触って広がっているとみている。

新型コロナはのどで増殖し、血管を経て全身を回り、腸に来て便に出る。宴会や家庭内で感染が拡大しているのは、トイレの共用などで広まっていると考えられる。新型コロナは炎症を抑えて時間をかければほとんどは治る。現時点では、ワクチンがないので怖がられている。あまり恐れる必要はないが、指で触れるものには気をつけよう。勧めるのは石けんを用いた手洗い。石けんでウィルスは破壊され、アルコールに比べて肌への刺激も少ない。

マスクは、感染している人がウィルスを広げないことへの効果と、感染していない人には、手で口や鼻を触らないようにする効果がある。」

この記事を読みますと、私たちにできる身近な対応は、基本的な手洗いということになるようです。自分で自分を守るのは、しっかりとした手洗いということです。コロナを恐れずされど侮らずに、この一年を過ごしていきたいものです。今年もよろしくお願いいたします。

【新聞に投稿】

令和３年１月４日 南日本新聞「若い目」掲載

大好きなサーフィン

中之島小学校六年　小原澤　稔理

ぼくが中之島で一番好きなことは、七ツ山海岸でのサーフィンです。

サーフィンをして上手に波に乗れるとすごく気持ちがいいし、新しい乗り方がうまくいくと、とてもうれしいです。

しかし、波に飲み込まれてしまうと悔しいです。でもあきらめないで何回もやっていくうちにサーフボードの上に立てたり、波に乗れるようになったりしたときは、だれかに自まんしたくなります。

またサーフィンが終わった後、川に入るのは少し冷たいけれど、入ったら気持ちがいいです。これからも、練習して新しい乗り方ができるようにしたいです。

令和３年１月５日 南日本新聞「若い目」掲載

「思いやりの心忘れずに」

宝島中学校三年　寺田　花南

「己の欲せざる所、人に施す勿（な）かれ」という言葉を知っていますか。これは、「自分の望んでいないよ」と言われたことがあると思います。

では、論語の中に出てきます。

多くの人が、こんなに当たり前に思えることでも、言ってはいけないことは人にしてはいけない」という意味です。

実行できないときがあります。

例えば、つい嫌なことを言ってしまうことがあります。もし、自分が傷つけていたら嫌な気持ちになっているかもしれない。そう考えると、お互いに思いやりをもって気持ちよくいられるようになったら良いなと思います。

もし、世界中の人々がこの考えをしっかりとも気持ちを考えてみることを忘れないようにしたいです。

子供のうた

十二月二十九日　南日本新聞掲載

ぼくは走る

タッタッタッタッ
ぼくは走る
朝も体育も夕方も
走っていると心がはずむ
よし、記録をちぢめるぞ
ドクドクドクドク
ぼくは走る
前の人からはなれるもんか
今日はなぜか息が苦しい
もう少しだ
やった　記録をちぢめたぞ

（小宝島小四年　岩下　捷人）

十　島　村　で　学　ぶ

【中之島で学ぶ】

中之島中学校２年　平泉　公大

僕は、中学生８名小学生８名という少人数の中で学校生活を送っている。島なので、どうしても人数は少なくなってしまうかもしれない。しかし、島に住んでいるからこそ、少人数だからこそ経験できることがある。昼休みに、皆でサッカーやバレーなどをする。その時は、小学校の低学年から中学生まで一緒になって楽しむ。この違う学年と過ごす時間を通して、小学生との接し方を学ぶことができる。だから、昼休みを過ごすたびに皆と仲良くなれている気がする。次は、僕がこの島の一番の魅力だと思っていることだ。中之島には、プールがない。しかし、水泳学習の時は、海水浴場に行って水泳学習を行う。泳いでいる時には、魚などを見ることができる。この体験も、島であるからこそで、鹿児島の学校ではめったに経験できないことだ。しかもその後は、皆で温泉に入ることができる。海水で冷えた体をお湯で温め、皆で話をしながら学校まで歩いて帰る。これも鹿児島の学校ではできないことだ。ぼくは、島に住んでいて不便だと感じる時もある。しかし、高校等への進学によってあと一年でこの島を出て行くことになる。僕は、中之島小・中学校の最高学年になった。後輩たちとこの島でしかできない経験を思う存分に楽しみたいと思う。

【悪石島小・中学校からのメッセージ】

教諭　有冨　早紀

悪石島に赴任してからもうすぐ二年が経とうとしています。私は、大学時代に離島での教育を見て、少人数の中、地域と共に子どもたちを育てている「島の先生」に憧れ、県外出身ではありましたが鹿児島県の教員になりました。そして、やっと悪石島に赴任することができました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で運動会や学習発表会など、例年とは違った形で行うことになりました。それでも参加してくださった島民の方々のおかげで、子どもたちの成長を実感することができました。

私は釣りをするわけでも、泳ぎが得意なわけでもありません。島の生活を満喫しきれているわけではないかもしれませんが、朝出勤前に歩きながら季節によって少しずつ変わっている植物や鳥たちの様子を見たり、ちょっとしたときに島民の方々と挨拶をして、お話をしたりしているときに、憧れの「島の先生」をしているんだという実感をもてます。そして、もっともっとがんばらなくては、と思います。子どもたちが島の中で、島の特色を生かしながら成長するために自分ができることはなにか見つけていき、実行していきたいです。

『教職員仲間であるあなた』への　私からのメッセージ

ＴＶ会議など、いつもお世話になっています。十島だからできる教育をみなさんとできれば、と考えていますので、共にがんばっていきましょう。